

(イ) テーマ2

事業体制を再編し、各材料の機能評価について、①in vivo評価は京都大学医学研究科、②MR画像は滋賀医科大学、③毒性評価は日本新薬株、④物性・動態評価はテルモ株、が実施する体制とした。

また、各イメージング材料を次世代DDS材料に集約化することを技術開発の目標に定めた。

これに伴い、次のとおり研究テーマの組み直しを実施した。

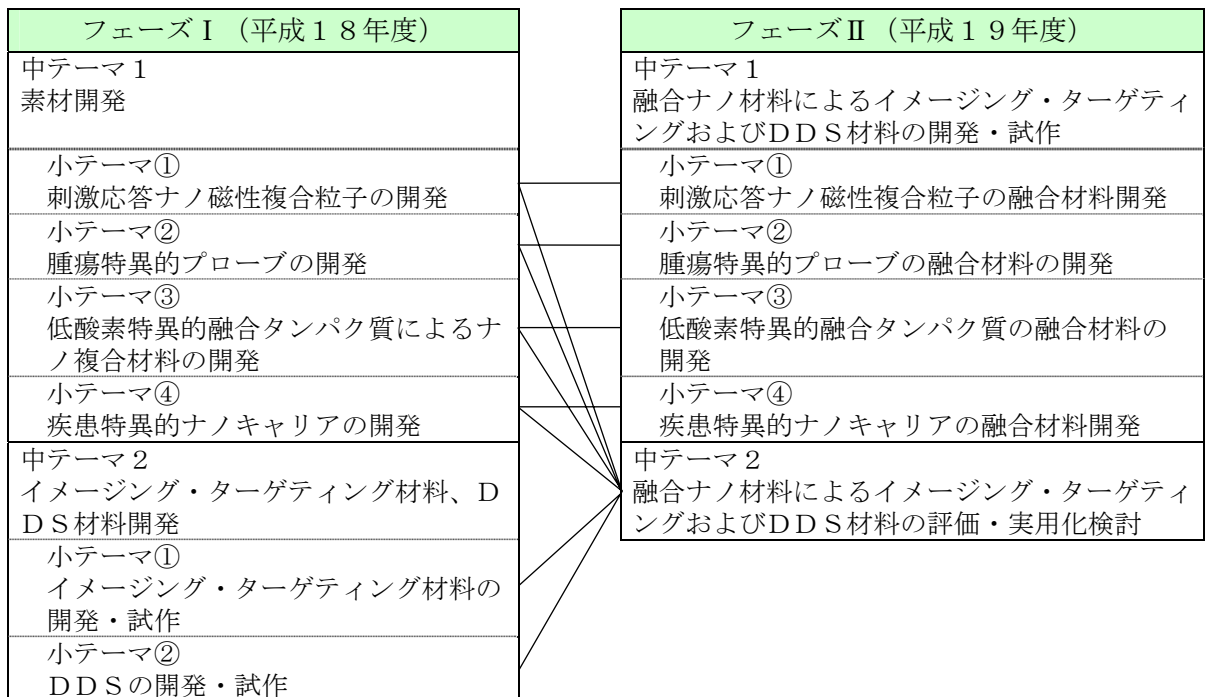


図14 テーマ2の研究テーマの推移

(3) 研究成果

様式6に示す。